

6年生 おすすめの本

2022年 3月 16日
PTA図書委員会発行

特別号♪



祝卒業



6年生のみなさん、保護者のみなさん、ご卒業おめでとうございます！

複小ではじめて出会った絵本は、入学式に校長先生が読んでくれた、長谷川義史さんの「ちゅうしゃなんかこわくない」でしたね！あれから6年。みんなはたくさんのお話を学び、感じて、心も体も見違えるほど大きく成長しました。みんなは複小学校自慢の卒業生です。そして、お父さんお母さんの誇りです。中学生になってもそれぞれの道を、自信を持って、元気に笑顔で進んでください。これから先の人生で、みんなの背中を押してくれるような本を紹介します♪

思わず考えちゃう

作:ヨシタケシンスケ / 新潮社

大人も子供も、それ以外も、「考えすぎちゃう」すべての人へ——。「自由って何?」「あれは人生の無駄?」「いわゆる男女の仲って、何?」「孤独感を、どう解消するか」「明日、すごいやる気を出す方法」等々。まじめな事から、世にも下らぬ事まで、絵本作家ヨシタケシンスケの、「読むとクスツとしてホツとしてちょっとイラッとする」、スケッチ解説エッセイ!



14歳、明日の時間割

作:鈴木 るりか / 小学館

現役中学生作家、鈴木るりかさん待望の第二弾書き下ろし新刊小説。舞台は、中学校。時間割に見立てた7編の短編で、鮮やかに現代の中学生の苦悩、笑い、絆、友情、想いを生き生きと描写。現代中学生の目を通して「生きる」ということについて大いに考えさせられます。笑って笑って、ホロッと泣かせる、胸に迫る青春群像小説です。



角川まんが学習シリーズ まんがで名作 渋沢栄一の論語と算盤

監修:加地伸行 / KADOKAWA

新しい1万円札の顔にも選ばれ、日本の「資本主義の父」と呼ばれる渋沢栄一は、中国の古典『論語』を学び、個人の利益の追求ではなく、「みんなの得になる社会をつくるにはどうすべきか」を考え実践した人物。正しくお金をもうけて社会のために使うこと、そして何より人を思いやり行動することの大切さを学んでいきましょう。



どこいったん / I WANT MY HAT BACK

作:ジョン・クラッセン 訳:長谷川義史 / クレヨンハウス

くまが大事なぼうしをさがしています。みんなに「どこいったん?」と聞けけれど、誰も知りません。あれ...でも、さっき!! とぼけた中にドキッとする結末が!

原作の英語版と、大阪弁に訳された日本語版を、読み比べても面白いですよ。



レディオワン

作:齊藤 倫 / 光村図書

新しい「みなさん、こんばんわん。〈レディオワン〉の時間です。今夜も、ぼく、DJジョンがお送りします。」思いがけず言葉を話せるようになった、犬のジョン。そんなジョンがラジオのDJとなって、人間たちに語りかけていくお話です。



穴 / HOLES

作:ルイス・サッカー 訳:幸田敦子 / 講談社

全米図書賞、ニューベリー賞他受賞の傑作。無実の罪で砂漠の矯正施設に入れられた少年スタンリー。大地に穴を掘るだけの苦行の日々から脱出し、不運を幸運に逆転する冒険へと踏み出す。友情と感動の物語!

